

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホーム雪ぼうし 1Fユニット

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念は目のつくところに掲示し、日々意識しながら実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会行事(西部のつどい・花壇整備)へスタッフが手伝いに参加している。入居者と一緒に参加できるように、調整をしていく。	地域活動自体が縮小化しているものの、各町内会で開催している運動教室への参加を通じて地域の一員として交流をしてほしい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会役員や行政担当者、包括支援センター職員と2ヵ月に1回開催し意見交換している。サービス向上に活かす事が課題。	施設・地域・行政が一同に集まり、情報交換や近況報告となる場としての役割も持つ、運営推進会議を今後も定期的開催とする。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	北広島市介護サービス連絡協議会主催の部会活動へ携わっており、行政職員の参加もある。	北広島市介護サービス連絡協議会:グループホーム部会への出席し、他施設との意見交換と行政との連携を今後も持ち続ける。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束はしていない。身体拘束の適正化研修を定期的に受講しており、職員間へ周知徹底し、取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束をしないケアが出来ている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に虐待防止委員会を開催。北海道社会福祉協議会主催による研修会を毎年受講している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待していない。 利用者の家族がいつでも面会に来れる環境を作っている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見センターとの連携もあり必要に応じて対応できるように備えている。 研修会への出席を通じ、制度理解に努めている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約日前に重要事項説明書にて説明している。契約時には改めて説明することで十分な理解がなされるよう努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のお便りや面会時に日頃の様子をご家族へ伝達。要望や意向を都度確認している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お便りや意見を伝えやすい環境作りをしている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談や毎月の会議で意見や要望を聞くように心がけている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回管理者とスタッフとの面談を実施している。 他、管理者と日常的に話す場が潤沢にある。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者に意見や会話をしやすい環境作りが来ている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修参加を促し報告書で研修内容や今後の取り組みなどを確認、面談を通して個人のスキルアップに努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修へ積極的に参加している。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	北広島市介護サービス連絡協議会主催の部会活動を行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のADLに合わせたできる事、できない事を把握し、家事やレクリエーションの参加に努め一緒に行う事での関係作りに努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族友人知人の面会や外出外泊を積極的に提案している。施設内ではテラスや居室で気兼ねなく過ごせるよう整備している。	ご家族、友人との面会が可能となり、面会・外出の機会が増えている。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人の希望や訴えに対しできる限り希望に沿えるよう努め、本人が選択できるような声かけを心がけている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月の会議でのカンファレンスや日々問題になることを個別にカンファレンスし、現状に即した介護計画を作成している。家族様へは面会時等に説明し同意を得ている。	スタッフからの意見を集約し、ケアプラン策定に活かしている。定期的なケアプラン更新に限らず、状態変化あった折にケアプラン策定もしている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	関係者間で情報を共有し、現状に即した介護計画を作成している。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアプランを実践し、気づいたことは個別のシートに記入し情報の共有に努めている。問題点は個別のカンファレンスをしケアプランの見直しに活かしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員間で情報を共有し、個別の記録や実践へ反映している。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	状況に応じての本人や家族のニーズに、できる限り対応しサービスの向上に努めている。	毎日の暮らしを支える介護サービスの他に、機能訓練の実施や歩行練習の促進など、本人の生活ペースに合わせて柔軟に展開している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人内で開催されている各種行事へ参加し、楽しみの場としている。また、地域の方々と一緒に参加する事で刺激にもなっている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	併設している病院のかかりつけ医に、病状の変化や対応を相談し連携している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護添書や内服の処方箋の提出と、病棟看護師、相談員との引継ぎ連携をしている。また、退院前カンファレンスなどにも積極的にさんかしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	病院との情報交換は十分に出来ている。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	重度化した場合の指針を用いて説明している。看取り介護を実践している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	併設している病院と連絡を取り、支援している。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	急変時のマニュアルに沿って対応している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的に法人合同の消防訓練や、研修参加にて避難訓練をしている。	施設独自の避難訓練の他に法人内での合同訓練にも参加している。 地域との連携を今後検討していきたい。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	消防訓練や研修に参加している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	敬語での言葉がけは徹底されておらず、馴れ合いの言葉がけが散見される。職員間で意識、注意を促している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人一人を尊重する言葉がけは出来ていると思う。 馴れ合いの言葉には気を付けて頂きたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	1日の流れの中で本人の希望に沿えるよう声かけし対応できるよう心がけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	季節感や嗜好を重視した食事提供に配慮している。準備や片付けもスタッフ・入居者協働して行っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	季節感を重視した食事をしている。 入居者だけでなくスタッフを楽しめているように感じた。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	専用の表を活用し食事量や水分量の把握、必要に応じて嗜好品での補食や介助にて栄養が摂れるよう支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアの声かけ、介助をしている。 状況に応じて併設病院の歯科医へ相談を持ち掛けている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	併設している病院と連携を取り、口腔ケアを出来ている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンの把握と専用の表を活用し、トイレ誘導を促している。下剤調整は主治医の訪問診療時に相談している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分に支援している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望やタイミングにできるだけ沿えるよう努めている。入浴が嫌いな方には曜日を決めて習慣化、し入浴できるよう支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昼間の休息の声かけと、夜間安眠できるよう活動のバランスをとっている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方箋での用法、用量の把握や医師、看護師との病状の変化や服薬方法を相談している。薬剤はスタッフが包括的に管理している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師や看護師と連携を取り、服薬支援を十分に行っている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人に合った無理のないお手伝いの声かけと、嗜好品の提供にて気分転換できるよう支援している。	身体への負担とならない程度の家事への参加や能力に応じたレク活動を実施している。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事やご家族との外出を楽しまれている。年2回の外出行事を継続していきたい。	行事としての外出の他にも外気に触れる機会を模索し、楽しみの場として設定していきたい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	入居者が金銭を取り扱う機会がない。外出でのショッピングなどを取り入れていきたい。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話の取次や郵便の投函の支援をしている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとの装飾を取り入れ、四季を感じて頂いている。 快適な空間作りに配慮している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとに職員と入居者で装飾し、四季を感じられる空間作りをしている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いに寄り添いながらの暮らしを目指しており、概ね意向に沿えている。自己表現が困難な方に対しての対応も柔軟に実施していく。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の暮らしぶりについて情報収集し、その人の歴史を踏まえた対応に心掛けている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の健康チェックを継続しており、病気の早期発見に尽力している。併設病院以外にも他科受信できる体制を整えている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設病院と連携し、ケアを受けることが出来ている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思い思いのペースで暮らせる様に、必要に応じて日課などの声掛けをしている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との外出の他に施設用事として外出レクを年間計画に取り入れている。地域行事にはスタッフが積極的に参加している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個性を重視できている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	☐ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	ご家族との外出の他に施設行事として外出レクを年間計画に取り入れている。地域行事にはスタッフが積極的に参加している。	地域行事へスタッフが手伝いとしての参加は今後も継続する。 社会福祉協議会を通じ、ボランティア参集を具体的に取り入れる。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の身体機能、認知機能レベルによって、それぞれのテーマを持って生活している。運動内容も個々でメニュー化されている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット内の人間関係は良好であり、状況に応じてスタッフが間に入る事で円滑なコミュニケーションが構築できている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH の庭にできた野菜の収穫など活動の場面が多く見られている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣地域との関わりは少ないものの、行事への参加を進めていく。	身体への負担や ADL、認知症の症状を勘案しながら、行事やイベントに参加する機会を設定とする。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	顔馴染みの入居者同士、スタッフとの関わりの中で安心感のある生活を過ごせるように対応している。	入居者の穏やかな生活は確保されている。家族や地域との結びつきを強く持てるよう、柔軟に対応を検討していく。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安心して楽しく暮らす事の出来る環境である。